

—令和2年度における校則の変更について—
ワンポイントアドバイス

既にお知らせしましたが、学校では令和2年度に向けた校則の見直しを行ってきました。より詳しい説明は、もう少し落ち着きましたら改めてしたいと考えています。今回、生徒会役員や前年度の中央委員会のメンバーが、校則変更の大切なポイントを真剣に考えてくれました。それは、「勉強する場としての学校」、そして、卒業後の将来にも通じる「さわやかな中学生としての姿勢」を大切にしようということです。そのため、大幅に変わった部分もありますので、実際に具体的な部分の質問もあるかと思います。何かありましたら、いつでも質問してください。そうは言っても、みなさんとゆっくり話す時間があまり許されていませんので、いくつか出ている質問を中心に今回は可能な範囲でお答えしていきたいと思ひます。ぜひ、みなさんと共有し、参考にしてください。

Q 女子の前髪は、どの程度まで大丈夫ですか？

A 男子も同じですが、目にかかってしまうことは衛生上よくないので、眉毛にやや触るくらいが無難です。

Q 「ゴムで束ねる」というのは、2本でなくてもよいのでしょうか？

A はい、肩（襟）にかかったら、束ねてください。二本でも、一本でも、三つ編みでも構いません。シニヨン（おだんごヘア）や頭頂部（ものすごく高い位置）で結ぶことや、前髪だけつまんでゴムでしばるなどはやめましょう。横髪を垂らすこともしません。邪魔になる部分はピンで今までどおり留めてすっきりさせましょう。ぜひ、この機会にあなたのセンスを磨いてください。

Q 男子のワイシャツは、半袖も長袖もアイロンマークの校章を付けるのですか？

A はい、そうです。夏にワイシャツだけで過ごす時も、冬、上着を脱いでいる時も校章があるようにします。

Q 運動靴ですが、例えば青い地に赤のロゴが付いていても大丈夫ですか？

A はい、大丈夫です。標準服から浮かないようなものがよいと考えます。そのまま高校に履いて進路活動ができるようなものです。蛍光色でなければ、ということなので、かなり選択の幅がありますね。

Q 運動靴は、体育の授業に適したものとする、とありますが、具体的に何に注意すればよいですか？

A ハイカットや厚底など、部活動等で専門的に履く靴ではない、ということです。あまり高価な靴で、汚れたり、失くした時に大騒ぎになるようなものは控えた方がいいと思ひます。

Q 体育の授業も昼休みに校庭に出る時も、靴に履き替えるのですか？

A はい、そうです。下駄箱から靴を持って、外にでる三和土（たたき）の所で履き替えましょう。いつも主事さんがピカピカにしてくださっている廊下なので、靴底を上にして持っていくとよりよいですね。

Q この春から、サブバッグの肩掛けはよいのでしょうか？

A 片手の持ち手だけを肩にかける人がいたため、これまで認めていませんでした。危険なので、持ち手を2本ともしっかり掛けてください。そして、だらしなくならないよう、センスがあるようお願いいたします。

Q 男子です。今、コロナの影響もあって、床屋さんに行くことができません。後ろの髪が結構伸びてしまったのですが、そのまま登校しても大丈夫でしょうか？

A この時期、仕方がないと思います。理解できます。無理して行く必要はありません。男女とも前髪だけは、自分で、または保護者の方をお願いしてさっぱりさせてください。男子の耳の上も同様です。また、女子の前髪や横髪などは、あまり長いようならピンで留めてください。

Q 靴下ですが、三つ折りでなくてよいのですか？ 学校にはいていってよい長さがよくわかりません。

A スクールソックスとして一般的に販売されている長さと考えてください。ふくらはぎ下あたりまで、という長さの靴下です。クルーソックスとも表現されています。三つ折りではなくて構いません。標準服に合わないということから、ハイソックスとくるぶしが出る短いスポーツタイプソックスはやめてください。

令和2年度における校則の変更について

また何かあったら質問してください。参考までに終業式に配布した内容です。ではまた！

1 変更後の内容 ※下線部は変更点です。

(1) 生徒心得の前文

規律正しく楽しい学校生活をすすめるために、この心得を守り、伝統ある忍岡中学校の生徒としての誇りをもって生活しよう。ここに記載されている内容の他にもルールがありますので、意識をして守っていきましょう。また、髪型や運動靴などの決まりは、生徒会本部役員・中央委員会委員の「学校は勉強をする場所である。」「卒業後の進路決定をする際に相応しい姿かどうか基準である。」等の意見を踏まえて見直したものです。どのような姿であるべきかを、一人一人が正しく判断することが大切です。

(2) 頭髪・服装

- ア 頭髪は、次のとおりとする。
男子：前髪は眉毛にかかる程度の長さまで、横髪は耳にかからない、襟足は制服に付かない長さまでとする。
女子：前髪は眉毛にかかる程度の長さまでとし、目にかかる場合は両側にかけてピンでとめる。ピンは、黒色の普通のもの（アメリカヘアピン）とする。
後ろ髪が肩にかかる場合は、ゴムで束ねる。（ゴムの色は黒・紺・茶とし、シリコンゴムは使用しない。）
- イ 校服は本校指定の標準服とし、靴下等は次の基準による。
〔校服〕男子：黒色の詰め襟・長ズボン（規格のもの）、白ワイシャツ、学帽
※ワイシャツは定められた位置に校章（アイロンマーク）を付ける。
女子：紺色の上着・ジャンパースカート、白ブラウス
〔靴下〕色は黒・紺・白・グレーとし、ワンポイント（ロゴ）は可。ハイソックス、ライン入り・くるぶしが出るものは不可。
〔履物〕登校・下校時は、黒革靴（ローファー）又は運動靴とする。ただし、運動靴の色は、白、黒、グレー、青等の寒色系とする。ロゴやラインが入っていても良いが、靴紐も含めて蛍光色は不可。
※運動靴は、標準服に合う落ち着いたものとし、体育の授業の際に適したものとする。
※荒天時のレインブーツは可とする。（色・柄の指定は無い。）
- ウ 冬期における服装
①セーターを着用してもよい。黒・紺・グレーの無地で、Vネック・丸首とする。（標準服から見えないもの）
②手袋・マフラーを着用してもよいが、派手なものや奇抜なものお避ける。（校内では使用しない。）
③女子は黒色のタイツ（80デニール程度）を着用してもよい。ただし、2学期：終業式、3学期：始業式・立志式・卒業式は必ず黒色のタイツを着用する。また、入学式（4月）は白の靴下とする。
- エ バッジは、指定の位置に付ける。
オ 上履きは、学校指定のものを使用する。
カ 体育の授業や昼休みなど、校庭に出るときは必ず運動靴に履き替える。

(3) 所持品

- ア 生徒手帳は常に携帯する。
イ 持ち物には記名をする。
ウ 不必要なものは持ってこない。〔例〕スマートフォン・携帯電話、金銭・時計などの貴重品、刃物など危険なもの。ただし、事情があり、学校へ持って来たときは、朝の段階で担任の先生に預け、下校時に受け取って帰る。
エ 学用品は本校指定の本カバンで持ち運ぶ。目印のためのお守りや小さなキーホルダーを本カバンやサブバッグに付ける場合は1つまでとする。
オ 指定された物を除き、学校に教科書やノートなどの学習道具を置くことはしない。
カ 必要な場合、リップクリームや日焼け止めクリームは持参しても良いが、薬用・無色無臭とする。